

福島県の被害状況

地震・津波被害 死者3,927人。浜通りを中心に甚大な被害。内陸部も倒壊家屋多数。

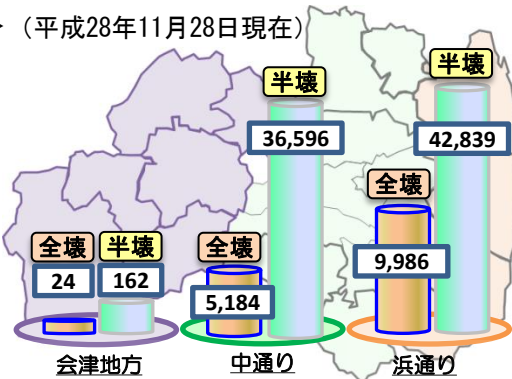
<被害状況> (平成28年11月28日現在)

- ◆死者：3,927人
(うち、震災関連死※2,099人)
- ◆行方不明者：3人

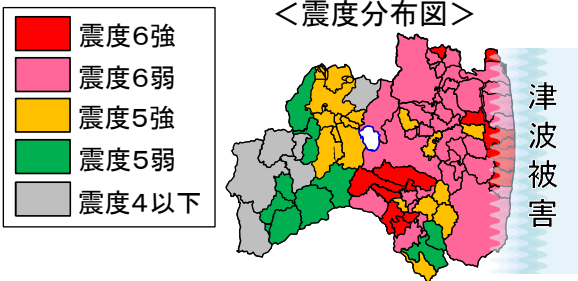
※震災関連死とは、地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

<家屋被害の状況> (平成28年11月28日現在)

- ◆全壊：15,194棟
- ◆半壊：79,597棟



<震度分布図>



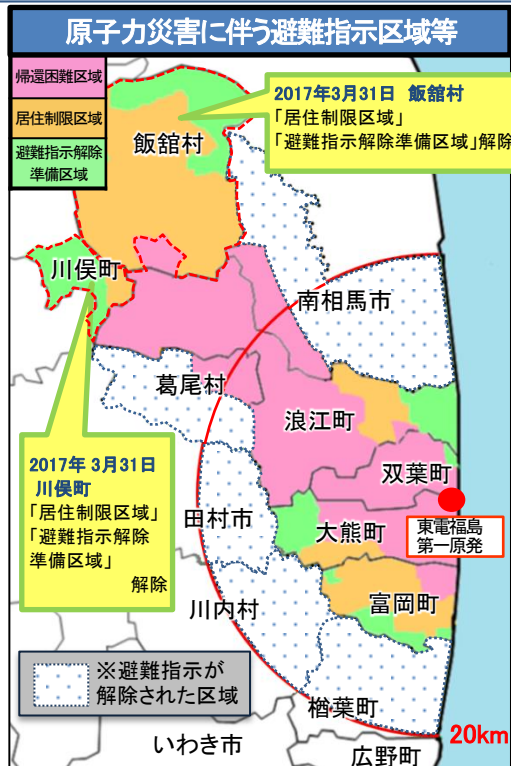
<災害廃棄物の処理状況> (平成28年9月末現在) (単位：千トン)

方部	発生見込量	仮置場搬入量	処理・処分量
浜通り	2,944	2,847 (96.7%)	2,431 (82.6%)
中通り	1,056	1,045 (98.9%)	1,040 (98.6%)
会津	19	19 (100.0%)	19 (100.0%)
合計	4,019	3,911 (97.3%)	3,490 (86.8%)

[出典]福島県一般廃棄物課調べ

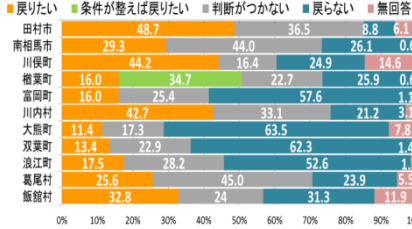
避難等の状況 平成28年11月現在の避難者数は8万4,289人(県内約4万4千人、県外約4万人)。

◆避難指示区域解除の状況

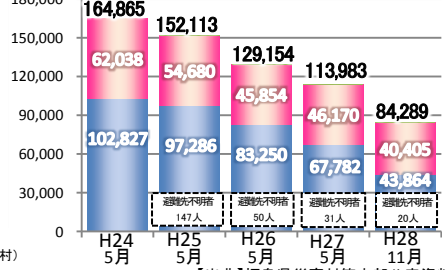


日時	市町村	解除の状況
2014.4.1	田村市 都路地区	避難指示解除準備区域解除 □ → □
2014.10.1	川内村	・避難指示解除準備区域の避難指示解除 □ → □ ・居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編 □ → □
2015.9.5	檜葉町	避難指示解除準備区域解除 □ → □
2016.6.12	葛尾村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除 □ → □ □ → □
2016.6.14	川内村	避難指示解除準備区域解除 □ → □
2016.7.12	南相馬市	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除 □ → □ □ → □
2017.3.31	飯館村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除 □ → □ □ → □
2017.3.31	川俣町	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除 □ → □ □ → □

<復興庁・県・市町村による
住民意向調査の結果(帰還意向)>



<避難者数の推移> (人) 県内避難者 県外避難者



[出典]福島県災害対策本部公表資料

<福島県の人口推移>

	世帯数 (単位:世帯)	人口		
		男性	女性	
H23.3.1	721,535	2,024,401	982,427	1,041,974
H28.11.1	743,836	1,899,486	939,933	959,553
増減	22,301	▲124,915	▲42,494	▲82,421

[出典]福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

<子ども(18歳未満)の避難状況> (単位:人)

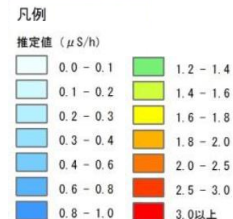
	H24.10.1	H28.10.1	増減数	
18歳未満避難者数	30,968	20,430	▲10,538	
県内	避難先市町村内	3,307	2,557	▲750
	避難先市町村外	10,691	8,621	▲2,070
県外	16,970	9,252	▲7,718	

[出典]福島県子ども・青少年政策課調べ

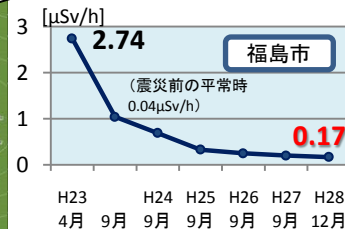
福島県の主な取組状況

除染 県内の空間放射線量は低下傾向。住宅除染は着実に前進。

※帰還困難区域で走行サーベイを実施。

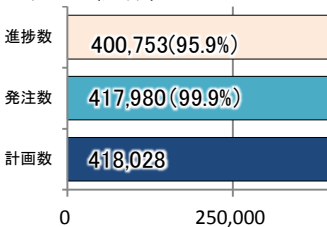


福島市の例

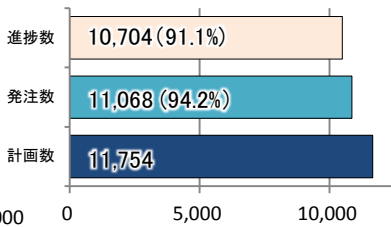


<市町村除染地域における除染の実施状況> (H28.9月末時点)

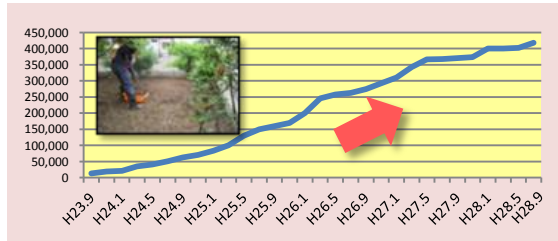
住宅(戸数)



公共施設等(施設数)



【参考】住宅除染の進捗数(累計)の推移



健康調査 将来にわたり県民の健康調査を実施。甲状腺検査はH25年度までに先行検査(1次検査)を終了。

<甲状腺検査>

震災時18歳以下等の子ども**約38万人**を対象
→先行検査は**約30万人**が受診
平成26年度から本格検査を実施中



<内部被ばく検査>

県実施分の累計検査人数 307,208人
(平成23年6月～平成28年10月)

預託実効線量*

1mSv未満	307,182 (人)
1mSv	14
2mSv	10
3mSv	2



判定結果	判定内容	先行検査		本格検査	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
A判定	A1 結節や嚢胞なし	154,607	99.2	108,619	99.2
	A2 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞	143,575		159,491	
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞	2,293	0.8	2,217	0.8
C判定	直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0

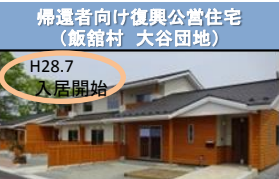
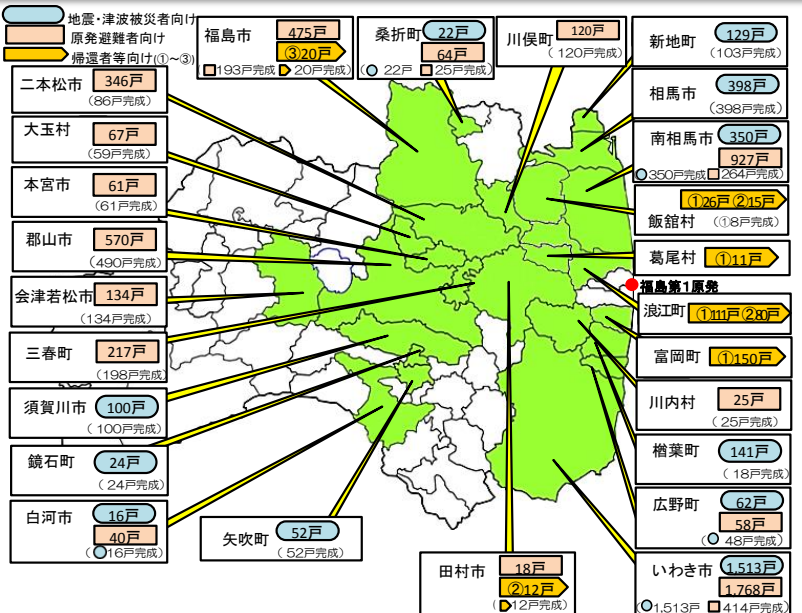
※先行検査:平成23～平成25年度、本格検査:平成26年度～

※概ね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量

住環境整備 原発避難者向け復興公営住宅を4,890戸整備予定。

<復興公営住宅等の整備状況>(H28年10月31日現在)

区分	整備予定	対象者	完成戸数
地震・津波被災者向け	11市町 2,807戸	地震・津波により住宅に被害を受けた住民	2,644戸
原発避難者向け	県主体 4,890戸	避難指示区域の住民(解除区域除く)	2,069戸
帰還者向け(①)	4町村 298戸	避難指示区域の住民(解除区域含む)	8戸
帰還者・新規転入者向け(②)	3市町村 107戸	・避難指示区域の住民(解除区域含む) ・自主避難者 ・新規転入者	12戸
子育て世帯向け(③)	1市 20戸	18歳未満の子育て世帯(自主避難者)	20戸



インフラ復旧 復旧工事は98%着手、全体の84%が完了！

＜公共土木施設等災害復旧工事の進捗＞（平成28年10月末日現在）

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了 見通し ※帰還困難 区域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,126	2,078	98%	1,794	84%	
河川・砂防	271	268	99%	239	88%	H31年度
海岸	156	155	99%	73	47%	H31年度
道路・橋梁	798	793	99%	749	94%	H30年度
港湾	331	317	96%	305	92%	H29年度
漁港	473	448	95%	331	70%	H30年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

地域別進捗状況

地域	査定決定数	完了率
会津	26件	完了100% (26件)
中通り	534件	完了100% (534件)
浜通り	1,566件	完了79% (1,234件)

浜通り進捗詳細: 0% (未着工) | 18% (284件) (施工中) | 82% (1,234件) (完了) | 100%

道路復旧の様子



防災緑地整備の様子



【参考】避難指示区域内の進捗状況

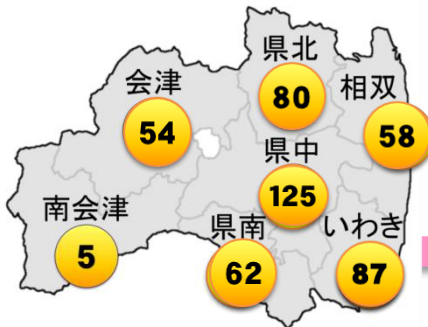
避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

区域	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
		着工率 (%)	完了率 (%)		
避難指示区域内	344	317	92%	193	56%

産業振興 企業立地補助金による支援等で工場の新増設が増加！

＜企業立地の状況＞

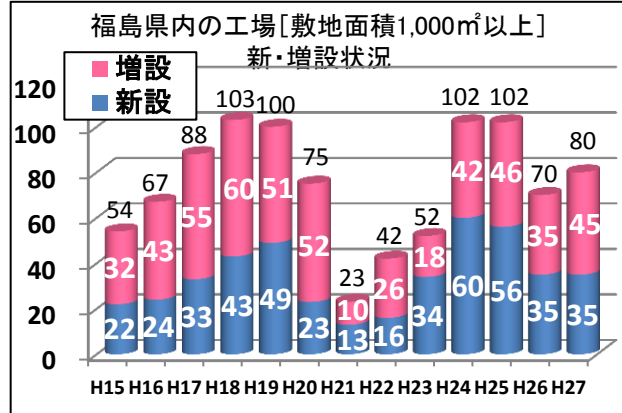
ふくしま産業復興企業立地補助金 **471社**を指定
(平成28年9月末現在)



＜指定を受けた主な業種＞

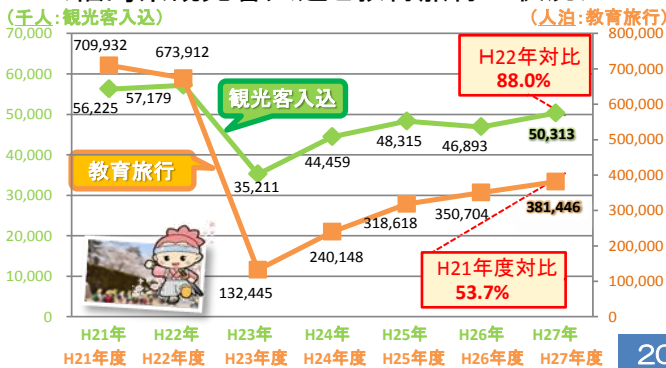
- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

5,923人の雇用創出見込み

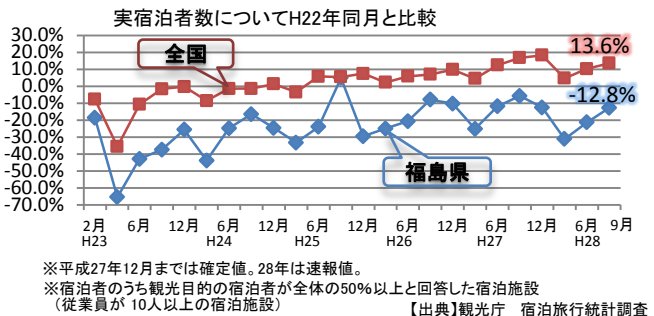


観光再生 2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業を積極的に取組み、復興を世界に発信！

＜福島県観光客入込と教育旅行の状況＞



＜観光客中心の施設における実宿泊者数(人泊)の推移＞



全国新酒鑑評会4年連続日本一

平成28年5月18日、日本酒の蔵元が新酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」において、県内蔵元の18銘柄が金賞に選ばれ、4年連続の日本一を達成しました。福島県金賞受賞数1位は通算6回目となります。



2020年東京五輪 フラッグツアー「復興 世界に発信を」

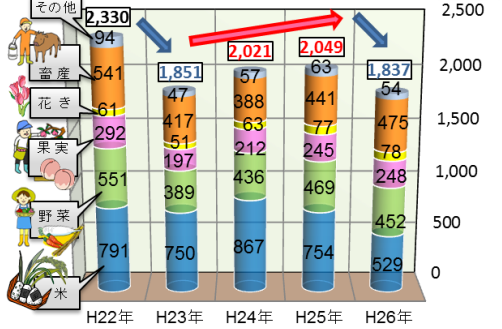
2020年(平成32年)に復興五輪と位置付けられる東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。平成28年11月2日には、全国に先駆けて福島県にオリンピック・パラリンピックフラッグが届けられ、県庁を始め、希望する6市町を巡回しました。既に、サッカー男女日本代表がJヴィレッジ(広野町、楡葉町)で事前キャンプを行うことが決定し、また、参加国と人的・経済的・文化的に交流をするホストタウンには4市町が登録されています。世界中から福島を訪れてもらい、復興に向け着実に歩んでいる姿を見てもらうため、関連事業に積極的に取り組んでいきます。



平成28年11月2日(於:県庁)「フラッグツアーセレモニー」

農業再生 コメの全量全袋検査や県産農林水産物のモニタリング等を通じて安全・安心な農林水産物を提供！

農業産出額の推移

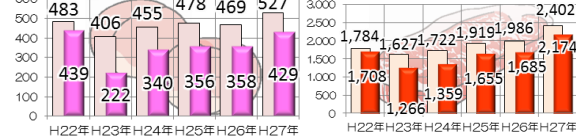


※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。

※ 項目毎の四捨五入により年計との各項目の総和は一致しない。
【出典】農林水産省 生産農業所得統計より作成

福島県を代表する農畜産物

もも と 肉用牛 の 価格推移 (単位: 円/kg)



【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報



県産農林水産物のモニタリング状況(H28.4~H28.10)

検査結果をHP等で公表。基準値超過は流通させない！

種別	検査数	基準値超過数	超過割合
玄米 (H28年産)※	約860万件	0件	0.00%
野菜・果実	2,998件	0件	0.00%
畜産物	2,496件	0件	0.00%
栽培きのこ	562件	0件	0.00%
海産魚介類	4,908件	0件	0.00%
内水面養殖魚	66件	0件	0.00%
山菜・野生きのこ	1,031件	2件	0.19%
河川・湖沼の魚類	502件	4件	0.80%

※1 玄米1のみ、平成28年8月24日～平成28年11月15日

県内全域の全ての米袋を検査 [米の全量全袋検査]



拠点整備 復興の推進力となる研究開発・産業創出拠点を各地に整備！

ふくしま国際医療科学センター
(医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター)
H28.9.12 開所

福島市

医療界と産業界の橋渡し役として、がんを中心とした新規治療薬・診断薬・検査試薬などの創薬拠点を整備。

場所 福島市(県立医科大学)
開所 平成28年9月12日開所

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
技術開発や人材育成を推進！
提供：(国)産業技術総合研究所

郡山市

国立研究開発法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。スマートシステム研究棟が平成28年4月1日に運用を開始。

場所 郡山市(郡山西部第二工業団地)
開所 平成26年4月1日開所

浜地域農業再生研究センター
H28.3.25 開所

南相馬市

避難地域等の営農再開、農業再生に向けた調査研究のための拠点を整備。

場所 南相馬市(旧浜直ニュースポーツ広場)
開所 平成28年3月25日開所

浮体式洋上風力発電実証研究事業
世界最大級 “ふくしま新風”(全高189m) 運転開始

福島県沖 提供：福島洋上風力コンソーシアム

浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。

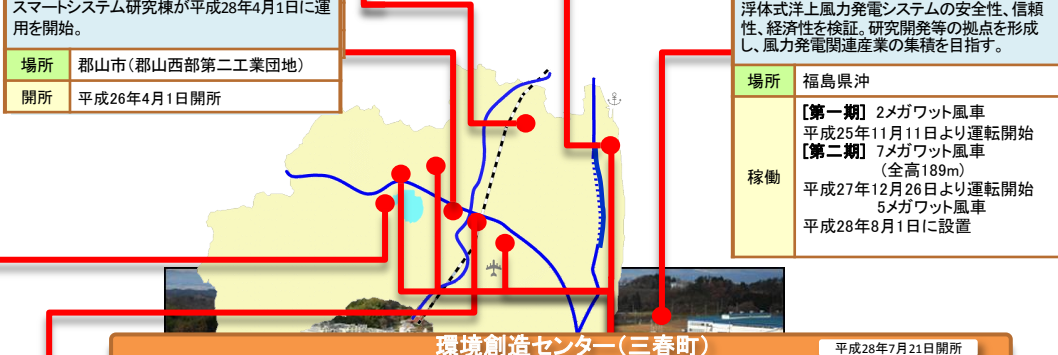
場所 福島県沖
稼働 【第一期】2メガワット風車 平成25年11月11日より運転開始
【第二期】7メガワット風車(全高189m) 平成27年12月26日より運転開始
5メガワット風車 平成28年8月1日に設置

会津大学復興支援センター(先端ICTラボ)
H27.10.1 供用開始

会津若松市

ICTを活用した地域産業振興を担う企業の集積や人材育成に取り組むとともに、先端ICT研究を推進し、新たなICT産業を創出するための研究開発拠点を整備。

場所 会津若松市(会津大学)
開所 平成27年10月1日供用開始



ふくしま医療機器開発支援センター
H28年11月7日 開所

郡山市

医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行うため、大動物を活用した安全性評価や医療従事者の機器操作トレーニング等を実施する拠点を整備。

場所 郡山市(旧農業試験場跡地)
開所 平成28年11月7日開所

環境創造センター(三春町)
平成28年7月21日開所

モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流

研究棟 本館 交流棟「コミュン福島」

環境放射線センター(南相馬市) 平成27年11月16日開所
野生生物共生センター(大玉村) 平成28年4月25日開所
猪苗代水環境センター(猪苗代町) 平成28年4月15日開所